



鼎談

今年四月にリニューアルオープンを果たした県立あき総合病院。新病院になって何が変わったのか？今回は循環器医療を中心に語ってもらった。

最新カテーテル機器導入によって変わる 県東部の循環器医療

県東部の循環器医療の現状

前田…古野先生は4月から副院長として着任していただきましたが、県東部の循環器医療の現状についてはどのような印象をお持ちでしょうか？

古野…東部は循環器に関しては救急医療を必要としている患者さんが多いと感じますね。なので地域の中核病院として循環器診療は重要な案件だと思っていました。心臓カテーテル（以下心カテ）室を揃えて救急カテをやるならそれなりの設備と人員が必要ですし、新病院の大きな仕事でしょう。

前田…今までなかったですから、立ち上げも大変だと思います。救急については、資料1をみると、当院の昨年の救急搬送件数は1269件だったんです。3年前は815件でしたから、この約450件の増加はスタッフの頑張りの成果だと思います。しかし搬送の比率で見ると、室戸・中芸・安芸消防の3消防で圏域外への搬送が依然800件以上あり、そのうち脳血管障害と循環器疾患が約4割を占めます。心筋梗塞がこれだけ県中央部に運ばれている現状について、桑原先生はどう考えますか？

桑原…心筋梗塞は時間との勝負で、どれだけ早く処置できるかがその後の予後に関わってきます。できるだけ早く処置できるようにしないといけないと考えます。

資料1：二次医療圏（安芸医療圏）救急搬送件数推移



前田…特に室戸などは大変ですが、ヘリ搬送という手段もありますね。夜間は困難ですけれど、心筋梗塞などの虚血性心疾患では、昼と夜とではどちらが多いでしょうか？

桑原…今までの経験からですとやはり夜間に多い印象があります。ですから地上での移動を余儀なくされる夜間救急搬送では、この安芸で医療を完結させることが重要だと思います。

前田…安芸市によると、高齢者の4割が独居または高齢者だけの世帯だと聞きました。移動自体にも負担のかかる高齢者層にとっては、圏域内で医療を完結させる施設がますます必要ですね。また、入院患者の疾患種別では循環器系が第2位だそうで、潜在的な需要はとて多いと思います。そういう意味で当院の役割が重要になると考えます。

■新病院の機器導入について

前田…今回の心カテ機器の導入は計画・設計段階から仕様決定まで高知大学老年病科の先生方にご協力いただきました。新しい機器はいかがですか？

古野…良いですよ、シングルパネルで画面が大きい。自分が好きなようにレイアウトもできる。例えばこれまではIVUS（血管内超音波検査）血管を内側から観察できる検査）とかも機械ごとに画面をみなぎやいけなかったんですが、今回の機器は1つの画面で切り替えられる、これは非常に便利ですね。心電モニタや電子カルテなど一ヶ所で見られるので、視線をモニタごとに動かさなくて済む、結果集中できるんですね。

桑原…カテ室の広さもとても広いですよ。

古野…広さって大事なんです、患者さんはベッドで入室されるのでね、安全面にも関わってきます。

前田…今回、レントゲン室の看護師、コメディカルスタッフなどが高知大学附属病院で研修させていたいただきましたがいかがでしたか？



院長 前田博教



副院長 古野貴志

古野…とても熱心でした。新しい病院を創るといふ意気込みを感じましたね。しかし新しい事の立ち上げには、慎重さも必要です。チームを作り上げて、着実に進めていきたいと考えています。

前田…開院後2カ月での心カテ実施件数を教えてください。

桑原…カテ全体では17件で、そのうち3件にインターベンション治療を行いました。

前田…順調に進んでいると考えていますか？

古野…はい、本格稼働目指して頑張ります。

前田…カテ以外で言うと、桑原先生が得意とされているペースメーカー治療はどうですか？

桑原…ペースメーカーの入院期間は1週間程度が多いです。高齢者のみの世帯ですと1週間も市内まで通うのはご家族の負担も多いので、この地域で解決できることはやっていかないとけないなと思っていますね。

前田…われわれ外科の分野でも、高齢者の手術の時は循環器内科の先生に診ていただけるとう心強いつ



循環器内科医長 桑原昌樹

ていうのはあるんですよ。これからは他科の依頼などの要望にも応えていただければと思います。

古野…桑原…はい。

■当院の今後の展望

前田…安芸に着任されてから地域の先生方との連携はどうですか、桑原先生？

桑原…すごくお世話になっていて、結構紹介状をいただいたりとかしています。

古野…やっぱり地域の先生方と親しくしていただけるようになるのが一番だよ。

前田…東部の医療圏には病院や診療所など医療機関が少ないので、連携して診療にあたらないと医師の許容量を超えてしまうんですよ。だから本当に地域との連携は大事だと思いますね。

桑原…安芸郡医師会の先生方には、研修会でも気さくに話しかけていただいて有難いです。懇親会でも雰囲気良くて、あつという間に地域の仲間に入れていただいている感じが良かったです。

前田…やっぱり呼ぶ仕掛けが必要ですね。総合診療医の専門医の資格とか、学会専門医の研修施設になるなど、そういったことが若い先生を呼ぶ大きな仕掛けになると思います。

古野…学会と関連して認定医・専門医を目指すっていうことですね。



心臓カテーテル室 (心臓血管造影装置：Philips社)

了